



【自主 敬愛 勇健】～生徒も教師も生き生きと活動する学校～

＜吹奏楽部が「佐久平マーチングバンド発表会」で演奏を披露してきました＞ ～これまでの努力の成果とマーチングの魅力を感じることでできる素晴らしい演奏でした～

「佐久平マーチングバンド発表会」が10月13日(月)に長野県立武道館で開催されました。県内外の団体が参加し、お互いの演奏を鑑賞し合い、交流を図る目的で開催され、今年度で13回目を迎える発表会です。

私は、昨年度も一昨年度も本校の演奏を鑑賞してきましたが、毎回、きれいなフォーメーションと美しい演奏に感動してしまいます。本校は他の参加団体よりも人数が少なかったのですが、それを思わせないほどの迫力のある演奏だったと思います。楽器を演奏するだけでも難しいことなのに、隊形を色々に変えながら、乱さぬように移動していくというのは、まさに「神技」と言えます。吹奏楽部の皆さんは、真夏の体育館で汗を流しながら練習を積み重ね、さらには朝早くからの練習にも取り組み、演奏を完成させてきました。部員の皆さんのひたむきな努力が最高の演奏をつくり出していることを思うと、胸が熱くなります。感動を与えてくれたことに感謝しています。ありがとうございました。



吹奏楽部は11月に埼玉県で行われるマーチングバンド関東大会に出場することが決まっています。この大会で3年生は引退することになりますので、当日は、最高の思い出になる演奏をしてきてほしいと願っています。

※後半の部の最初は「東京農業大学第二高等学校」の演奏でした。この学校には、本校の卒業生も進学し、吹奏楽部に所属しています。演奏開始前に、長野県出身の生徒紹介があり、その中で、本校の卒業生2名を紹介していただきました。明るく元気に学校生活を送っていることが演技や表情から感じられ、嬉しかったです。140人の部員からなる吹奏楽部で、あれだけのパフォーマンスを演じるのに、どれだけの労力を費やしたのか、想像し難いです。旗を舞うように振ったり、手作りのサーベルや銃を投げたりと、まるで新体操の選手のような演技をする生徒にも見惚れてしまい、楽器の演奏をじっくりと鑑賞することができませんでした。また、動きが複雑なため、どこで本校の卒業生が演奏しているかを把握できないまま演奏が終わってしまいました。

＜学校保健委員会を開催しました＞～「成長期の食生活」について話し合いました～

10月16日(木)に学校保健委員会を開催しました。学校保健委員会は、学校・家庭・地域が一体となって生徒の健康課題について協議し、解決策を考える組織です。今年度は、丸子学校給食センターから栄養士の中村理加先生から「成長期の食生活」についてご講話いただき、学校医の先生方からもご指導いただきました。先生方のお話から、小中学生は当然のこと、「私たち大人も健康のために日々の食生活を見直してい



く必要がある」ことを十分に理解することができました。また、過去の調査結果から、全県の平均と比較して、本校では朝食を欠食する生徒が少ないことや夜遅くまで起きている生徒が多いということが分かりました。朝食をしっかりととることや睡眠時間を十分にとることは、成長期の子どもたちの脳や体の発達に良い影響を与え、学力や体力の向上にもつながりますので、学校ではこれからも「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨していきます。11月の学級懇談会では、この会の内容も話題にさせていただけるとのことです。ぜひ、情報交換から生徒の成長のために役立つ内容を得ていただきたいと思います。